

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.70

.....

～目次～

【1】 TKK活動

- ・ 2026 年度 総会 副理事退任、新任副理事、新任理事 報告
- ・ 実践的アプローチ講習会（ZOOM 開催）案内
- ・ 2026 年度 TKK 主催：医療及び家族相談会 案内
- ・ 第 39 回高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会に参加して

【2】 加盟団体の活動

- ・ 高次脳機能障害者と家族の会
- ・ みなと高次脳
- ・ ハイリハキッズ
- ・ 明日に希望を灯す動画作成委員会 紹介

【3】 高次脳機能障害者支援法を受けて

- ・ 障害福祉計画第 8 期に向けた世田谷区の状況

【4】 行政、他団体の活動

- ・ 区中央部高次脳機能障害合同研修会

【5】 TKK 新任理事 紹介

- ・ 一般社団法人栄福社会 安部恵理子氏 インタビュー

.....

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の＜＞はシリーズ開催です —

TKKメルマガ配信は、本号で70回を迎えることとなりました。

これも偏にTKK団体会員、個人会員、配信を受け取ってくださる皆様のご理解ご協力ご支援の賜物であります。

改めまして御礼を申し上げます。

有難うございます。

引き続き宜しくお願い致します。

=====メルマガ担当 高井玲子、中村千穂、安部恵理子

TKKメルマガ バックナンバーはこちらから⇒ <https://brain-tkk.com/magazine/>

-----∞

●2026 年度 総会 副役員退任、新任役員、新理事 報告

本年度の定期総会は 5 月 10 日新宿区立大久保地域センターにて開催されました。

2025 年 12 月 24 日に公布され、2026 年 4 月 1 日から施行された「高次脳機能障害者支援法」について今後、東京都への要望書の軸として、各地域の重要な活動の軸として、進んで行くことが話題に出ました。

尚、退任役員、新任役員、新任理事の承認もありました。

新体制でスタートしています。

小澤京子 : 副理事長から理事に異動

高井玲子 : 理事から副理事長に異動

安部恵理子 : 新理事に就任

○ZOOM ウェビナーによる実践的アプローチ講習会 (ZOOM 開催) 案内

開催日 : 第 1 回 9 月 27 日(日)、第 2 回 12 月 13 日(日)

開催時間: 両日とも 13:00~16:30

プログラムは 8 月にはいりましたら TKK のホームページ(<https://brain-tkk.com/information/>)でお知らせいたします。どうぞご期待ください。

○2026 年度 TKK 主催:医療及び家族相談会 案内

～高次脳機能障害者と家族のための相談会～

8 月 23 日(日)、10 月 4 日(日)、11 月 8 日(日)、2027 年 2 月 7 日(日)

各回とも 13:30~16:30(1 組につき 1 時間)

3 組を先着順

開催日 5 日前までに申し込み

相談は無料

※申し込み方法、会場案内など 詳しくはこちら ➡ <https://x.gd/OuBru>

● 第39回高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会に参加して

委員会は 6 月 16 日に開催されました。

支援法に関してずっとまだ発表出来ないと言っていた東京都の対応が話されるとあって、委員の今井の他、理事たちも多く傍聴しました。

1. 都はすでに支援法が規定する施策に取り組んでおり、既存の施策をベースに対応

・東京都心身障害者福祉センターを「高次脳機能障害者支援センター」へ

・連携調整委員会を活用し、「高次脳機能障害者支援地域協議会」(協議会)を設置

※令和 8 年度中に設置予定 設置までの間、連携調整委員会を継続

・専門的リハビリテーションの充実事業、区市町村高次脳機能障害者支援促進事業、高次脳機能障害者支援養成研修はすでに取り組んでいる。

2. 高次脳機能障害の特性に関する国民の理解が必ずしも十分でないとした支援法の制定趣旨を踏まえ、

更なる普及啓発等を検討

今井からは家族支援について意見を述べました。(と言うものの、ZOOMの音声はどうしても繋がらず、やむなくチャットで伝えました...)

「家族支援について実態調査をしてくださいませんか?うつ症状や精神科通院が多い実態、どうやって支援をしているか、考えていらっしゃいますか? 家族は「ケアラー」なのです。家族が介護するのが当たり前という状況を変えていかなければならないと考えています。実態調査、都と一緒にやっていきたいと思います。」これで伝わったか不安ですが、ヤングケアラーだけでなく、私たちもケアラーなのです!家族介護を基本としての支援では、この先たち行かなくなると思われます。自分の健康不安や悪化、働きながらのケア(ワーキングケアラー)、介護離職、両親たちへの介護など多重のケアをしている人(ダブルケアラー)、妻が倒れたら実家から高齢や病気を抱えた両親やきょうだいと呼び寄せるなどの現実。誰がそれを知りどう支援していくのか。家族会に繋げるだけでは解決できない支援の現状の仕組みを変えていかなければと強く思います。

=====今井雅子

【2】加盟団体の活動

＊＊

○高次脳機能障害者と家族の会

- ・8月 ボーリング大会
- ・11月 リクレーション
- ・こーじ通信 年4回発行(5,7,10,1月)

○みなと高次脳

- ・7月 家族交流 café
- ・8月 当事者会
- ・9月 家族交流 café
- ・10月 ヒューマンぶらざまつり(港区立障害保健福祉センター全館使用)参加

○ハイリハキッズ・ジュニア

- ・7月 定例会
- ・9月19日 支援者向け研修会「こどもを支える みんなで学ぼう!つながろう!」
「こどもを支える みんなで学ぼう!つながろう!」

主催:ハイリハキッズ

詳細:<https://acrobat.adobe.com/id/urn:aaid:sc:AP:cab09a1b-4385-4823-984f-7293886c58d7>

- ・9月20,21日 第8回キッズネットワーク宿泊イベント IN 東京

○明日に希望を灯す動画作成委員会

6月現在、高次脳機能障害者自身が作成した回復への動画が12名になりました。

最新の動画は「(愛称)ニゼック」氏の登壇。発症は脳卒中、右半身麻痺や言語障害などの後遺症に苦しみながらも、非利き手の活用や日常生活の再獲得に取り組みました。現在は会社員として働きながら YouTube を発信。

下記が制作した YouTube 画像です。

ニゼック 路線図アニメの森

<https://www.youtube.com/channel/UCVbmFBaQtIGX0FlvnSAsJeg>

他の当事者の動画も下記にあります。

是非、当事者回復への参考にしてください。

<https://www.asu2kibouwo.com/>

【3】 高次脳機能障害者支援法を受けて **

障害福祉計画第8期に向けた世田谷区の状況

「高次脳機能障害者支援法」が4月1日から施行され、各自治体もそれぞれにその支援策を打ち出し始めています。5月10日に開催されたTKKの総会では、家族会としては令和9年度への予算要望書の提出はもちろんだが、その前に「障害福祉計画第8期(令和9年度～11年度)にも、要望を届けるべきということが話し合われました。

この障害福祉計画は国の基本指針に基づいて、都道府県、市区町村が3年ごとに策定する行政計画です。今井の住んでいる世田谷区でも「せたがやインクルージョンプラン 一世田谷区障害施策推進計画」策定に向けて、検討が続いています。3月に実施した障害者(児)等実態調査や障害者施策推進協議会・自立支援協議会からの意見等を踏まえ、支援法が施行された高次脳機能障害については、「高次脳機能障害施策の充実」を新たに加えました。「世田谷区高次脳機能障害者支援における基本的な考え方」の策定に向け、私も加わった8名ほどの委員と障害福祉部の職員たちと検討が続いています。現在2回目の検討会が終わり、7月10月の検討会が終われば「基本的な考え方」の策定となる予定です。

各自治体の進捗状況などにも注視しながら、東京都への提案、続く令和9年度の予算要望書と今が踏ん張りどころだと思っています。

=====今井雅子

【4】 行政、他団体の活動 **

○ 区中央部高次脳機能障害合同研修会

「あきらめていませんか？意識障害に対するリハビリテーション医療」

主 催：東京慈恵会医科大学附属病院 リハビリテーション科

日 時：8/3(月) 18:30～19:30

会 場：Web開催(ZOOM)

講 師：新見 昌央 氏(日本大学医学部リハビリテーション医学分野)

対 象：地域リハビリテーションに関係する方、医療従事者

詳 細：近日公開予定

※締切：7/31(金)

-----∞
●新任理事インタビュー：安部恵理子さん

【自己紹介をお願いします】

このたび、TKKの理事を務めることになりました、安部恵理子と申します。作業療法士として高次脳機能障害のある方々やご家族の支援に携わり、約20年になります。これまで、地域での生活支援や就労支援の現場で、それぞれの方が希望する暮らしの実現に向けた支援を行ってきました。

そのなかで、多くの当事者の方やご家族との出会いに支えられながら、日々学びを深めてきました。



～当事者Tさんが店長を務める店先で～
※右端が安部（ご本人の許可を得て掲載）

【高次脳機能障害者支援への思いをお聞かせください】

高次脳機能障害は、外見からはわかりにくく、症状も非常に多様です。

また、症状そのものだけでなく、ご本人の性格や生活環境、周囲との関係など、さまざまな要因が複雑に絡み合う障害でもあります。その影響は、家庭での日常生活から、職場・学校等の社会生活まで、さまざまな場面で困りごととして現れます。そのため、周囲から理解されにくいだけでなく、ご本人やご家族にとっても、「何が起きているのか」「どう対処したらよいのか」が見えにくい障害だと感じています。

一方で、私は支援の現場で、症状や環境を整理し、ご本人・ご家族・周囲の関わり方が少し変わるだけで、生活のしやすさが大きく変わる場面を数多く見てきました。また、同じ障害のある当事者同士の出会いや、同じ悩みや経験をもつご家族同士のつながりが、新たな一步を踏み出す大きな原動力になることも実感してきました。そのような変化に立ち会い、サポートできることが、私自身の専門職としての、そして一人の人間としての成長にもつながってきたと感じています。

【支援で大切にしていることをお聞かせください】

信頼関係が、安心して挑戦できる土台になると考えています。このため、支援者と支援される側という一方向の関係ではなく、人として互いを尊重し合える対等な関係性を大切にしています。また、お一人おひとりと丁寧に向き合い、その方が本当に求めていることに耳を傾けることを心がけています。そのうえで、困りごとの背景にある要因をわかりやすく整理し、その方や環境に合った対処方法を一緒に考えることで、生活のしやすさにつなげていきたいと思っています。

同時に、その方の「できないこと」だけでなく、好きなこと、得意なこと、大切にしている価値観に目を向け、それを活かしながら、その方が望む生活に少しでも近づけるよう、新たな喜びや生きがいを見つけるお手伝いができればと思っています。時間をかけて少しずつ生きづらさを軽減し、その人らしさを取り戻したり、新たに育んでいくプロセスを共有できることに、やりがいを感じます。

【今後の抱負をお聞かせください】

2010年に支援者・専門職向けに開催された講座に参加して以来、私はTKK主催の数多くの講習会で学ばせていただきました。当時、高次脳機能障害支援について学ぶ機会が限られていた私にとって、講習会は貴重な学びと交流の場でした。そのようなTKKに、このたび理事として参画させていただくことになり、大変光栄であると同時に、身の引き締まる思いです。高次脳機能障害者支援法が施行された節目の年に関わらせていただけることにも、大きな責任を感じています。

私が支援の中で強く感じてきたのは、退院はゴールではなく、本当の生活のスタートであるということです。私自身、制度

の狭間で支援につながりにくく、困難を抱えながら地域で生活する当事者の方やご家族と数多く出会ってきました。退院後に支援が途切れることで、支援者との関わりや、同じ立場の仲間（ピア）と出会う機会も失われやすい現状があります。微力ではありますが、TKKの活動を通して、こうした支援の切れ目を少しでも減らし、当事者やご家族の皆さんが安心してつながれる居場所や、必要な支援につながれる場づくりに貢献したいと思っています。そして、お一人おひとりが、その人らしく、自分の人生を歩んでいける社会の実現に向けて、尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈経歴等〉

- ・作業療法士、公認心理師、臨床神経心理士
- ・新宿区立障害者福祉センター、埼玉県総合リハビリテーションセンター、国立障害者リハビリテーションセンター、東京都リハビリテーション病院、キッチンさかえ（就労継続支援B型）、ダイアリー（自立訓練）等にて高次脳機能障害支援に従事
- ・日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会、高次脳機能障害ピアサポート推進協議会、高次脳機能障害支援者養成研修、日本作業療法士協会、家族会・当事者会等で活動
- ・厚生労働科学研究協力、養成校・研修会講師、学会発表、分担執筆等
- ・英国・オーストラリアにて高次脳機能障害支援の海外研修参加